

マンションに高齢になっても安心して住み続けるために

マンションを終の棲家と考えている人は年々増加しています。一方、長寿命化と引き替えに、私たちは要介護や認知症、孤独死の不安という現実も受け入れていかなければなりません。住み慣れた我が家、親しい隣人がいて子どもの声が聞こえるコミュニティの中でできるだけ暮らしたいというのは皆に共通した思いでしょう。

私たちが、マンションという集住スタイルを生かし、高齢になっても、一人暮らしになっても住みなれたマンションでできる限り住み続けるために、今何をすればいいのかを、皆で考えてみたいと思います。

日 時 : 2010年11月23日(火・祝) 13:30~16:30

場 所 : 月島区民館 5号洋室 (中央区月島二丁目8番11号)

有楽町線、大江戸線月島駅徒歩2分(案内図裏面参照)

*フォーラム参加費(資料代) 会員:500円 非会員:1000円

◆ プログラム ◆

司会進行: 山下 三貴子

1. 趣旨説明: 廣田 信子(マンションコミュニティ研究会代表)

2. 基調講演: 高齢になっても住み続けられるマンションとは

小林 秀樹(千葉大学教授)

3. ワークショップ:

高齢化に前向きに取り組んでいるマンションの現場から事例報告をいただきます。

- * 介護付の分譲マンション
- * 高齢者の見守りに取り組むマンション
- * 介護事業をNPOが立ち上げたマンション
- * 世代間の交流に取り組むマンション 等の報告を予定しています。

その後、会場の皆さまと意見交換をしてみたいです。

4. 切手のいらない年賀状運動の紹介:

横倉 啓子(マンションコミュニティ研究会副代表)



◆ 主 催 ◆ マンションコミュニティ研究会

事務局: 東京都世田谷区玉川4-37-6 クリップ生活研究所内(担当 宮川)
TEL 03-3700-9934 FAX 03-3700-9938
e-mail: info@mckhug.com URL: <http://www.mckhug.com>

マンションコミュニティ研究会のご案内

マンションコミュニティ研究会は、**マンションに暮らす**ということが、個人のライフスタイルが大切にされながら、ゆる〜くても、芯はほっかほかの、新しい「**きずな**」でむすばれ、いざというときは一人ではないという「**安心**」を感じられる**ス・テ・キ**な住まい方だと、マンション居住の意味を再確認し、一人一人が、マンションコミュニティを大切に育てていくような社会を作っていくための実践的研究、活動を行っています。

設立より半年、お陰様で会員数が100名を超え、マンションコミュニティに対する関心の高さを改めて感じると共に、多くの方に支えていただけて活動できますことを心から感謝しております。

毎月の勉強会の実施、セミナー等での広報活動を行いながら、現在、「**年に一度のお正月、マンションの隣人にも意識を向けて、「切手のいらない年賀状」を送ってみましょう**」という運動に取り組んでいます。

マンションに関わる多くの方とつながり、マンションコミュニティに対する思いや情報を共有していきたいとの願いを込めて、フォーラムへのご参加をお待ちしております。

マンションコミュニティ研究会代表 廣田信子

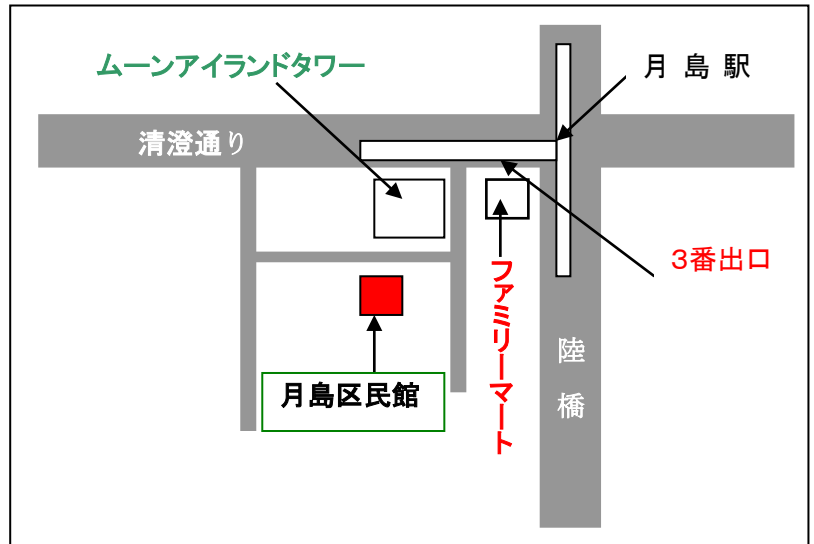
■会場案内

月島区民館

(中央区月島二丁目8番11号)

■アクセス

東京メトロ有楽町線、都営大江戸線
「月島駅」下車 3番出口徒歩2分



申込用紙

下記ご記入の上、FAX (03-3700-9938) かメール (e-mail: mckhug@mckhug.com) でお申し込み下さい。

お申込期限 11月18日(木) ※定員になり次第締め切らせて頂きます。

| | | | |
|--------|-------------|-----------------------------|------------------------------|
| ふりがな | | | |
| お名前 | 所属団体 企業名 | | |
| ご住所 | 〒 | | |
| お電話 | FAX | | |
| e-mail | 会員 ・非会員 | <input type="checkbox"/> 会員 | <input type="checkbox"/> 非会員 |
| 通信欄 | | | |